

1 リニモ公園西駅周辺整備事業

◇地区の概要

本地区は長久手町の東部に位置し、香流川とその沿いに広がる農地を軸として、丘陵地に囲まれた緑豊かな地域である。また、地域の中心にリニモの公園西駅があり、本地区を南北に貫く田名古屋線と東西に貫く青少年公園線が交差する地区であり、広域的に交通利便性が高い地域である。

万博の開催により道路、リニモ公園西駅などが整備されたが、公園西駅へのアクセス道路や駅前広場などの整備がされていない。また、市街化調整区域のため、都市基盤を活かした有効活用がされていない。

◇事業概要

本地区は、第5次長久手町総合計画において、公共交通利便を生かした土地利用を推進することとしており、平成22年3月に策定した長久手町都市計画マスタープランにおいても、市街化区域編入を前提とした新しい市街地の形成を行い、多くの人が集まる生活交流拠点の形成を目指している。

このため、駅へのアクセス道路や駅前広場などの整備により交通結節機能を強化するとともに、公共交通の利便性を生かし、商業施設の誘致や周辺レクリエーション施設と連携したにぎわい機能の導入や自然環境に配慮した環境共生型の新しいまちの創出を行い、新しい生活交流拠点の形成を図る。

◇進捗状況及び今後の予定

平成22年8月29日	地権者説明会（第1回）
平成22年9月10日～30日	地権者土地利用意向アンケート
平成23年3月末	地権者説明会（第2回）

◇今後の事業展開

今後、事業手法、事業範囲等の絞り込みを行い、市街化区域への編入協議、地質調査などの調査を行っていく予定。

2 長久手中央土地区画整理事業

◇事業概要

本地区は、第5次長久手町総合計画等において、商業、文化、産業等の複合機能を有する本町の都市拠点の形成を図る都市核（シンボル・コア）として位置付けられる。

このため、土地区画整理事業による基盤整備に合わせて、駅前広場（約6,500㎡）と（都）長久手古戦場駅前通り線を整備することで交通結節点機能を強化し、新たな都市核を形成する先導的な役割を担うとともに、複合拠点施設を検討（リニモテラス構想）し、積極的に「新たな顔」づくりを進めていく。

1 施行面積	27.4ha（市街化区域編入面積：26.2ha）
2 地権者数	167名
3 計画人口	1,710人
4 計画戸数	684戸
5 施行期間	平成22年度～平成31年度

◇進捗状況及び今後の予定

平成22年7月30日	設立認可
平成22年8月22日	組合設立総会
平成23年度	仮換地指定（予定）

◇平成22年度の予定事業

仮換地設計、ボーリング調査、街区確定測量、全体予備設計、土砂搬入等

3 リニモの利用促進に向けたシャトルバス、駅周辺施設の整備

・4月1日より長久手古戦場駅より沿線大学へのシャトルバス運行（長久手古戦場駅～愛知学院大、中西学園間）

・長久手古戦場駅前広場バスシェルターの整備（6月19日より供用開始）

4 リニモ活性化事業

平成20年6月にリニモの活性化及び沿線地域を始めとする町の活性化を目指し産官学民が一体となった長久手町リニモ活性化会議を設立。

今年度は、以下の事業を展開した。

◇リニモde夏休み

夏休み期間中にファミリー層をターゲットに、モリコロパークやリニモを活用したイベントを実施

・7月17日（土）、7月18日（日）にリニモde夏まつり&モリコロパークお誕生会をモリコロパークで開催。

両日で18,000人来場。

◇リニモdeイルミ（11月20日～翌年1月10日）

図書館通りを中心に街をイルミネーションで飾り、地域と連携したイベントを実施。イベント参加者数は、約6,000名。

- ・イルミネーション（図書館通り約1.4km、住民参加型の作品も展示）
- ・オープニングイベント（はなみずき広場 点灯セレモニー、ブース出展ほか）
- ・クリスマスイベント（はなみずき広場・文化の家、職員ボランティアイベント、ZIP-FM コンサートほか）
- ・リニモXmasトレイン（356名乗車）
- ・ミステリーナイトウォーク（図書館通りを中心に、携帯電話のQRコードを使用して行うクイズラリー）

◇広報プロモーション事業

主に名古屋市からの誘客を意識した広報戦略のもと、新聞・ラジオなどのマスメディアや公共交通機関車内への中吊り広告、ホームページ及び携帯サイト、ツイッター等を活用した情報の発信。

5 大学連携

リニモ沿線大学との連携。

「TNPプロジェクト」

リニモ活性化事業に沿線大学の学際実行委員が参加。企画の立案・実施を行った。